

「さちぼた」を楽しもう

都心にはない広い空、田んぼのなかをどこまでも続く一本道、道端の苔むした道標。
四季折々に違った顔を見せる風景に魅せられ、自然の営みの音を感じ、風を切って五感を満たす特別な時間。
幸せ自転車さんぽ＝「さちぼた」で、幸せな時間をお過ごしください。
みなさんで、マイルートを見つけてみてください。

幸手はこんなまち

「幸」の一字を冠する基礎自治体は全国で3つしかなく、そのなかで市なのは幸手市だけです。その名の示す通り、幸手は「幸せを手にするまち」。都心から一時間圏にありながらも、自然にあふれた環境と濃厚な歴史に培われた、住んで幸せ、訪れて幸せのまちなのです。

権現堂堤

関東有数の桜の名所として知られる権現堂堤は、権現堂川の氾濫から江戸を護る「御府内御囲堤」（ごふないおかこいづつみ）と呼ばれ、明治天皇が行幸するなど、歴史的にも重要な堤でした。今では四季折々にまつりが開催され、一年を通じてあでやかな花々を楽しむことができる場となっています。

春



4月上旬

桜まつり

1km余も続く桜のトンネルと菜の花の黄色い絨毯のコントラストが絶景。

夏



6月中旬

あじさいまつり

多種多様に咲き誇る紫陽花。なかでも純白のアナベルは見事。

権現堂堤のまつり

秋



9月下旬

曼珠沙華まつり

秋の権現堂堤路、真っ赤な曼珠沙華が鮮やかに染め上げる。

冬



2月上旬

水仙まつり

凜と咲く白い可憐な花が寒い冬の権現堂堤の斜面を彩る。

幸手宿の歴史

幸手は、日光街道6番目の宿場町、「幸手宿」として栄えました。日光街道と日光御成道（徳川将軍日光社参の道）の合流点として、交通の要衝であったことが窺えます。現在のまちなみにもその面影を感じることができます。江戸時代後期の記録によると、城下町ではない宿場町としては、日光街道全21宿のうち3番目の規模を誇ったほど、栄えたまちでした。

※詳細は幸手市観光マップをご覧ください。



東武日光線「幸手駅」下車
北千住から急行で約40分

幸手市へのアクセス



幸手市サイクリングマップ

発行: 幸手市 〒340-0192 埼玉県幸手市東4-6-8 / TEL 0480-43-1111
企画: 幸手市政策調整課 協力: 幸手市観光協会 / 日本工業大学
※この事業は「幸手にぎわいの街プロジェクト事業」の一環です。



幸手市 サイクリングマップ

幸手のまちを
自転車で巡る
ポタリングマップ



幸手市